

【 9 月の予定 】

- 2 日（水）：明倫・社学習会仲間づくり 17:00～
 3 日（木）：にこにこサロン 作品作り 10:30～
 17 日（木）：にこにこサロン 健康教室 10:30～
 26 日（土）：成人育成事業
 ふわもこマットを作ろう！ 9:30～

今月の人権カレンダー

- 9/1～30 障害者雇用支援月間
 9/10～16 自殺予防週間
 9/21 敬老の日
 9/21 国際平和デー

令和8年度 第4回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座

この絵本は
ある家族の
本当の体験 から
生まれました。

絵本の主人公、モモコの父であり
絵本制作にも携わった講師が、
実体験や制作に込めた思いを語ります。

参加無料
事前申込み不要



主人公の父である講師の
絵本に込められた思いや実体験を知り、
障がいのある人の人権について
理解を深めましょう。

共生社会の実現に向けて
地域へ恩返し

日時：令和 8年 9月12日(土) 13時30分～15時
 場所：倉吉交流プラザ 2階 視聴覚ホール

問い合わせ先：倉吉市人権政策課 ☎(0858)22-8130
 ✉ jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp

生活で困っていることはありませんか？ ごはんを食べていますか？ 眠れていますか？
 家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ
 悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は
 秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇
 した場合は、倉吉市人権政策課、
 又は、最寄りの人権文化センター
 までご相談ください。

倉吉市市民生活部人権政策課 Tel0858-22-8130
 はばたき人権文化センター Tel0858-22-0232

はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行：はばたき人権文化センター
 住所：〒682-0872
 倉吉市福吉町2丁目 1514-7
 電話：0858-22-0232(FAX兼)
 E-Mail: habataki@ncn-k.net



9月号 No.453 (2026年9月1日発行)

9月10日から16日は **自殺予防週間** です

厚生労働省の発表した統計によると、2025年の日本全体の自殺者は、統計を開始した1978
 年以降、初めて2万人を下回り過去最低となった一方、小中学生・高校生の自殺者は529人と、
 統計のある1980年以降で最多となっています。小中学生・高校生の自殺はコロナ禍に入った
 2020年に急増し、以後も高止まりが続き、特に女子生徒で増加傾向にあると言われています。

9月1日問題を知っていますか？



毎年夏休みが終わる8月末から9月初めにかけて、特に9月1日前後に子どもや若い世代
 の自殺が急増する現象を「9月1日問題」といいます。月別の統計では、9月の小中学生・高校生
 の自殺者数は年間最多となっており、背景にはいじめや学業、家庭環境、人間関係の不安、生活
 リズムの変化など様々な要因が複雑に絡み合っています。

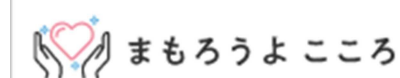


子どものSOSを見逃さないで！

子どもが発するSOSは言葉だけではありません。むしろ言葉にでき
 ないまま、行動や態度の変化として現れることがほとんどです。睡眠・食
 欲・体調・行動などの些細な変化に気づき、これまでになかったようなこ
 とが長く続く場合は、心のSOSなのかも知れません。

子どもの「いつもと違う」サインをキャッチしたら、早めに相談機関や
 医師など専門家に相談してみましょう。

(参考・引用 厚生労働省 HP)



厚生労働省「まもろうよ こころ」ホームページでは
 電話やSNSの相談窓口などの情報がわかりやすく
 紹介されています。大人も子どもも、1人で悩まず
 まずは相談してみましょう。
<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro>





にこにこサロン 隔週 木曜日 10:30～

◆お住まいの地域に関係なく、お気軽にお越しください◆

2026年度年間テーマ: 集う・食べる・笑うは元気のもと! にこにこサロン

活動報告

◆7月23日(木) 避難訓練と作品づくり(話し合い)

調理中の出火を想定した避難訓練を行いました。点呼のあと、もしもの時にも役立つ、ポリ袋を使う湯煎調理で「蒸しパンづくり」に挑戦! 湯煎している間は家庭用防災機器について DVD で学習しました。洗い物を出さず袋で調理し、袋のまま食べられるポリ袋クッキングで作った蒸しパンは昼食のデザートとして試食! これが湯煎でできるんだね! とみんなで感心しながらいただきました。作品づくりについても、PP バンドで作るバッグや小物の色など個々に希望を出しあい、とても賑やかな会となりました。



◆8月6日、20日、27日(木) にこにこクールシェア



初の試みのクールシェアには、近隣住民の方が訪れ、涼しい部屋でゆったりと手芸やおしゃべりを楽しんでいました。バッグづくりに挑戦! と弁当持参で来られ、せっせと PP バンドを編み、1日で完成に近い形まで進んだ方も! 暑い中、家に1人でいるより2人・3人と集まって手も口も動かしながら過ごす、そんな時間もいいものです。また何かの形でこんな場所をつくりたいと思いました。

【注】PP バンドとは・・・荷物の梱包や結束に使われるポリプロピレン製の結束バンドです。

◆9月 3日(木)10:30～作品づくり

PPバンドで作るバッグや小物、フェイスタオル 2 枚でできる
かわいい親子猫のぬいぐるみを作ってみませんか?

【材料費】 PP バンド手芸(ミニかご 100 円、ランチョンマット 200 円、花柄バッグ500円)

ぬいぐるみは無料ですがフェイスタオル 2 枚をご持参ください。

会 場 : はばたき人権文化センター 参加費 : 200円(昼食代)



◆9月17日(木)10:30～健康教室・健康チェック

地域包括支援センターによる健康チェックの他、今年は食生活推進員による健康教室を実施します! 介護予防教室として、栄養バランスを考えた昼食の提供もあります。

会 場 : はばたき人権文化センター 参加費 : この回のみ無料 ※昼食は数に限りがあります。

成人育成事業

ふわもこマットを作ろう!

どこに置いてもすべらない! 肌触り抜群のふわふわ&もこもこマットを作ります。
バスマット・玄関マット・座布団がわりなど使い方自由自在♪好きな糸を選んで・作って・使って、生活に彩りを添えてみませんか? ご参加お待ちしております。

申込締切 9月8日(火)
参加費(材料費) 500円

日時 : 9月26日(土) 9:30～11:30
会場 : はばたき人権文化センター
講師 : 川口早百合さん

申込み時に色の指定が必要です。はばたき人権文化センターに掲示している色見本を確認の上、事務室窓口または電話(☎22-0232)でお申し込みください。



アンコンシャス・バイアスと性別役割分担意識

日常生活の中で「男だから」「女だから」という理由で、男女の役割や生き方を決めつけていませんか? こうした考えは、自分でも気がつかないうちに身につけている無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)から生まれることがあります。

1 アンコンシャス・バイアスは「見えない心の壁」

アンコンシャス・バイアスは、自分では気がつきにくい無意識の思い込みで、これまでの経験や価値観に影響されて身についたものです。本人が自覚していないため、相手を理解する前に無意識に判断してしまうなど、「見えない心の壁」となることがあります。

例えば...

- ・男女の性別によって仕事や役割を決めること
- ・学歴や年齢、国籍、肌の色などで相手を判断すること



2 性別役割分担意識とは

「女だから」「男だから」など性別だけを理由に、男女の役割を固定的に決めつける考え方のことです。

例えば...

- ・男は仕事、女は家庭
- ・家事、育児、介護は女性の仕事
- ・組織のリーダーは男性の方が向いている
- ・営業は男性、女性は事務職が適している



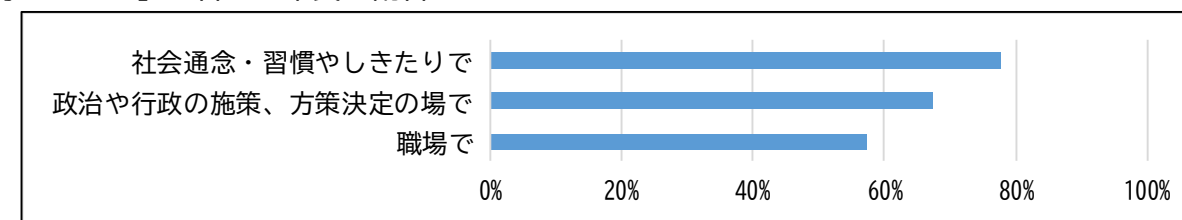
3 アンコンシャス・バイアスと性別役割分担意識の関係

性別役割分担意識は、アンコンシャス・バイアスの一つとして現れることがあります。例えば「男性は仕事、女性は家庭」のような考え方をあたりまえと思っている場合は、長年の生活や経験で身についた無意識の思い込みであることが考えられます。

4 市民意識調査結果から

令和6(2024)年度 倉吉市男女共同参画に関する市民意識調査から、学校、職場、家庭、地域などの様々な場面における男女の地位の平等感について質問したところ、男女の地位が「平等ではない」(男性優遇)と答えた市民の割合は5割を超えており、令和元(2019)年度の調査時から大きな変化はありません。

◆「平等ではない」と答えた市民の割合



【立ち止まって考えることの大切さ】 ～ 一人ひとりが自分らしく生きるために

アンコンシャス・バイアスは誰もが持っているものです。お互いを尊重し、多様な生き方や考え方を認め合うことから、性別による偏見のない社会への一歩が始まります。性別に関わらず、一人ひとりが自分らしく生きることが出来る社会を実現するためには、「これは性別ではなく、その人自身を見て判断しているだろうか」と立ち止まって考えることが大切です。